

世界に誇れる極上の会津米づくり「目指そう特A 会津コシ1等米100%」

両沼地方稲作情報 第2号

令和7年3月31日

発行：福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所 (電話0242-83-2113)
" 金山普及所 (電話0241-54-2801)

J A会津よつば 各営農経済センター、(有)カネダイ、(有)猪俣徳一商店、(有)山一米穀店、
会津宮川土地改良区、阿賀川土地改良区、会津坂下町只見川土地改良区



会津坂下農業普及所のHPでは、これまで発行した稲作情報を掲載しております。
その他、様々な情報を発信しておりますので、お気軽にご覧ください。

QRコード

URL : <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36243a/bangehukyu-9.html>

○ハウス内の温度が30℃以上にならないよう管理を徹底しましょう。

○移植後、置き苗は早期に処分しましょう。

○農薬はラベル等を十分に確認し、適正に使用しましょう。

1 気象情報

4月および5月は気温の変動が大きいです。天気予報を確認し、苗が高温や低温に遭遇しないようハウスの温度管理を徹底しましょう（育苗時の温度目安は前号に記載）。

2 育苗時の注意点

育苗管理の失敗事例として、病気以外で多いのが、「出芽の不揃い」、「苗の徒長」、「苗の老化」です。健全な苗を育苗するために、以下のことに注意しましょう。

(1) 出芽の不揃い

- ・種子は、玄米が充実して重いものほど発芽率がよいため、塩水選を行い、不稔もみや登熟不良もみを取り除くようにしましょう。
 - ・浸種時の水温は10～15℃、積算温度100℃を目安にします。
 - ・酸欠と雑菌繁殖防止のため、定期的（2日に1回程度）に水を交換しましょう。
- (注) 浸種期間が短い、水温が低温や高温でも不揃いになる恐れがあります。

(2) 苗の徒長

- ・育苗施設の温度管理に注意しましょう。
- ・徒長苗を移植すると、植痛みによる活着不良や除草剤の薬害が発生しやすくなります。

(3) 苗の老化

- ・播種は移植時期から逆算して計画的に行いましょう。
- ・播種量が多いほど苗間の競合が大きくなり、苗の老化の時期が早まります。
- ・特に、高密度播種（250～300g/箱）の育苗は、計画的に行い老化させないようにしましょう。
- ・老化苗は、苗の窒素含有率が低下し、苗全体の葉色が淡くなります。
- ・老化苗を移植すると、下位の分げつが退化するため、初期生育が不良になる恐れがあります。

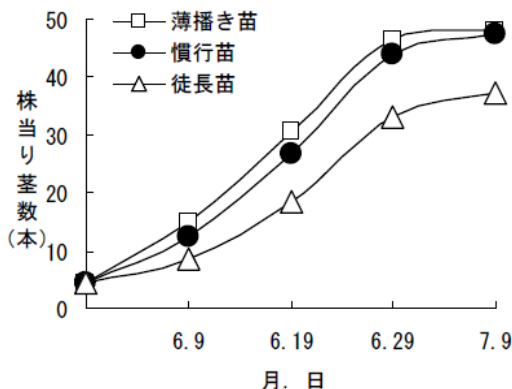


図1 苗素質と茎数

※参考：福島県稲作・畑作指針（平成30年度）
慣行苗（草丈13.9cm）
徒長苗（草丈19.2cm）：200g/箱
薄播き苗（草丈12.2cm）：100g/箱

⑨ 苗作りを失敗しないために

- ・苗の種類別の特徴を理解しましょう（表1）。
- ・移植日から逆算して播種日を決定し、適切な育苗日数を確保しましょう。

(4) 苗の生育と活着について

- ・ 苗の活着は、温度と苗質に影響を受けます。
- ・ 活着適温は25～39℃ですが、実際の外気温においては、**気温12℃以上**（水温15～16℃以上）とされています。
- ・ 苗の種類別の活着限界温度（日平均気温）は、稚苗が12℃、中苗が13.5℃、成苗が14.5℃となり、葉齢が増すごとに高くなります。

葉齢：完全に開いた葉の数に、現在伸びている葉身の長さが完全に開いた状態の何割伸びているのかを表す。

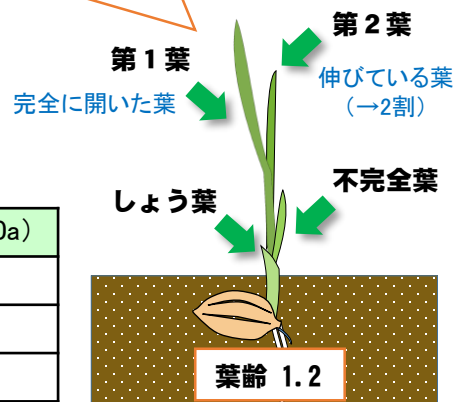


図2 葉齢の数え方

表1 播種量と苗の生育（参考：福島県稲作・畑作指針 p107）

苗の種類	葉齢	播種量(g)	育苗日数(日)	箱数(箱/10a)
稚苗	2.2-2.5	150-200	20-25	18-22
中苗	3.0-3.9	100	30-35	30-35
成苗	4.0以上	40-70	30-45	45-60

3 移植～初期本田管理のポイント

(1) 移植

- ・ 本田移植は、風が弱く温暖な日にします。
- ・ 田植えが遅れ、老化苗になりそうな時は、**窒素の追肥**（液肥等）を行います。（例）1箱当たり硫酸5g（窒素成分で1g）を水500mlに溶かして細穴のジョウロ等で追肥します。散布後、かん水することで「肥料ヤケ」を防止します。

④置き苗の処分について

- ・ 本田の置き苗を放置すると、いもち病等の感染源になります。
- ・ 不要な置き苗は処分（ひっくり返す・埋却する等）してください。

(2) 初期除草

- ・ 除草剤を使用するにあたっては、農薬ラベル等で使用時期、使用方法、適用雑草をよく確認し、適切に使用してください。
- ・ 散布前にしっかりと湛水し、水口・水尻をしっかりと止めて、漏水がないことを確認してから散布してください。

(3) 水管理

- ・ 移植直後は苗の萎凋防止のため、苗が水没しない範囲で深水とします。
- ・ 活着後は浅水（水深3cm程度）とし、日中と夜間の水温較差を大きくして、分けつの発生を促します。
- ・ ただし、低温や強風が懸念される時は深水で保温します。

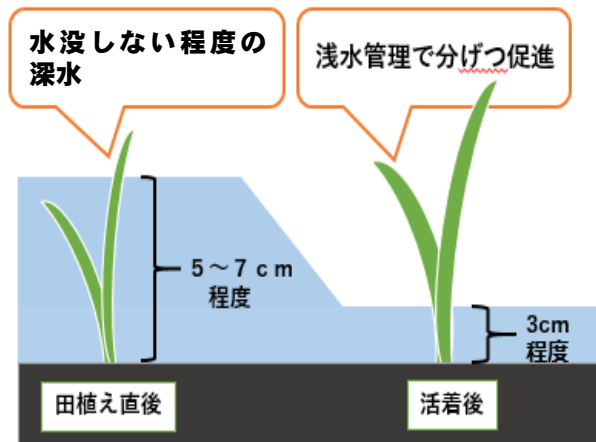


図3 移植後の水管理

④近年は還元障害(ガス湧きによる根傷み)が多くのほ場で見られます。

【発生防止】

- ・ 稲わらのすき込み時、**浅水でねり込んで浮きわらを防ぐ**ことが重要です。
- ・ 土壌分析結果に応じ、遊離酸化鉄が低い場合は**含鉄資材(※)**を施用します。

【発生時の対処方法】

- ・ 生育に影響がある場合、一時的に**落水**してガスを抜きます。
- ・ 還元障害で生育が停滞している時は、葉色が薄くても窒素は追肥しません。

※酸化鉄が有毒ガスの影響を緩和



○5月・6月も高温が予想されます。農作業中の熱中症にご注意ください。

○節水に御協力をお願いします。

農作業安全運動
実施中!

3/1~5/31
安全な農作業を
心掛けよう!

